

ChibaTech News

No_697 | 2025年7月・8月合併号 | 千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

「AGI研究センター」設立へ

松尾豊氏、汎用人工知能の未来を切り拓く

本学は、8月1日(金)、「AGI研究センター(Artificial General Intelligence Research Center／略称：ARC)」を設立しました。本センターの所長には、人工知能研究の第一人者として国際的に著名な国立大学法人東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授 松尾豊氏をクロスアポイント制度により迎え、国内外の研究をリードする体制を整えます。

松尾所長は、深層学習(ディープラーニング)研究を日本に導入・普及させた中心人物であり、産業界や政府のAI戦略にも深く関わってきた、日本を代表する人工知能研究者です。本学には、未来ロボット技術研究センターや惑星探査研究センターなど、先進的な研究拠点が既に9つ設置されています。今回のAGI研究センターは、その10番目のセンターとして新たに加わり、大学の研究体制をさらに強化するもので、汎用人工



AGI研究センター所長 松尾 豊氏

知能(AGI)の実現と、その社会的な影響に関する研究を学際的に推進する、日本初の先導的な拠点となります。

初年度は、専任研究者2名と兼務研究者2名の計4名体制でスタートし、松尾研究室(東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻)との連携なども視野に入れ、国内外の学術ネットワークと協力しながら活動を展開します。

本センターのミッションは、AGI研究と社会実装を加速し、世界的な学術コミュニティへの貢献とともに、アジア太平洋地域および世界の持続可能な発展に貢献することです。先端研究と社会的実践をつなぐ新たな挑戦として、ここから未来の知の創造に取り組んでいきます。



詳細はコチラ

2026年4月に「デザイン&サイエンス研究科」を開設

本学では、2026年4月、新たに大学院「デザイン&サイエンス研究科(School of Design and Science, SDS)」を開設します。本研究科は、従来の学問分野の枠組みにとらわれない「アンチディシプリナリー(脱専門性)」を教育理念に掲げ、理論と実践を統合しながら、社会に新しい価値を生み出す人材の育成を目指します。

授業・研究活動はすべて英語で行われ、国際的な教員らと共に学ぶ少数精鋭の教育環境を整備します。入学直後からプロジェクトベースで学びを進めるとともに、倫理・文化・計算論・デザイン・科学など幅広い分野の原則的知識を並行して修得。学生は自ら問いを立て、現実社会の複雑な課題解決に挑戦していきます。

また、国内外の第一線で活躍する研究者が教員として参画。伊藤穰一学長「アンチディシプリナリー」、岡瑞起教授「人工生命」、スプツニ子！

教授「スペキュラティブデザイン」らをはじめ、デジタルガバナンス、複雑性工学、機械学習、デジタル文化など多様な分野の専門家が指導にあたります。

さらに本研究科では、未来都市デザイン(ブータン・ゲレフ「マインドフルネスシティ」構想との連携)、AIの安全性とガバナンス、新しいデジタルコンメンズの設計、アートとサイエンスの融合といった研究テーマを通じ、国際社会に実装可能な知の創出を目指します。

【募集定員】

デザイン&サイエンス専攻(修士課程):15名
デザイン&サイエンス専攻(博士後期課程):5名



詳細はコチラ

新大学院お披露目と「変革賞」創設を発表

7月5日(土)、渋谷パルコDGビル「DragonGate」にて「デザイン&サイエンスのシンポジウム 2025」を開催しました。本シンポジウムは、新大学院のお披露目を兼ねたイベントであり、「アンチディシプリナリー(脱専門性)」の理念を社会に示す場となりました。

当日は、未来都市構想やデジタル社会の新たなルールづくり、AIと人間の共存など、学際的なテーマをめぐり活発な議論が行われました。

さらに、新たな国際賞である「変革賞(Radical Transformation Award)」



シンポジウムの様子

の創設を発表しました。人類の成長を促す革新的な取り組みを顕彰する同賞は、本学名誉博士でもあるリード・ホフマン氏の支援により設立されたもの。初代受賞者には、国際的に活躍するサウンドアーティストのクリスティン・サン・キム氏が選ばれました。

NEWS CITから、Chiba Tech Newsへ。

リブランディングに伴い、デザインを一新し、紙面でもお届けいたします。これからも大学の“今”をお届けします。

[CONTENT]

【P2】学生支援の一環として「学食用餐券5,000円分」を全学生に配布／「本当に強い大学ランキング2025」で全国14位・関東私大4位にランクイン／オープンキャンパスを開催(in新習志野キャンパス)
【P3】PPA総会開催 新会長に北原

氏／「web3・AI概論」最終発表会／東京スカイツリータウン®キャンパスで「楽しんだもんがち宇宙展」を開催
【P4】藤鷹さん、坂本さん「最優秀論文賞」／三橋さん火薬学会で「優秀講演賞」／森さんHCD研究会で「優秀ポスター賞」／石井さん「学生優秀発表

賞」／猪狩さん「優秀プレゼンテーション賞」／大澤さん「設計コンペ入賞」
【P5】就職・進路支援便り／令和8(2026)年度 千葉工業大学入学試験日程
【P6】南房総市と本学関研究室、産学協働で観光プロモーションに挑戦／

産学連携プロジェクトで「猫のトイレ」を一般販売
【P7】柔道部が千葉県学生柔道優勝大会2部リーグ戦で優勝／よさこいソーラン風神部華やかに演舞／学生寮で防火・防災訓練と運動会を開催
【P8】6月・7月のできごと／コラム

学生支援の一環として「学食用食券5,000円分」を全学生に配布

～物価高騰の中、学びと健康を守る取り組み～

本学では、昨今の物価上昇、特に米をはじめとした食料品の値上がりを受け、学生の学びと生活を支える新たな支援策を実施しました。6月16日(月)より、全学生10,500名を対象に、学内食堂で利用できる「5,000円分の食券」を配布しました。

学内食堂では、JAいちかわの協力により、厳選された銘柄米を使用。日替わりで250円～400円の栄養バランスの取れたメニューが提供されており、学生たちは質の高い食事を気軽に楽しむことができます。

今回の食券配布により、多くの学生が学食でのランチや夕



メニューも豊富な食事を囲みながら談笑する学生たち

食に活用。学生からは、「お昼代を気にせず、友人と一緒に温かいご飯が食べられてありがたい」「一人暮らしなので、朝・昼・夕と学食を利用しています。もともと安いのに、さらに食券をいただけたら嬉しい限りです」といった声が寄せられています。この取り組みは、学生共済会・

同窓会・大学の三者連携によって実現し、学生生活の充実と健康維持を目的としています。

過去の主な学生食支援

- ・2020年度(令和2年度)
対面授業再開に合わせ、全学生に朝・昼・夕で利用可能な2万円分の学食券を無償配布。全時間帯で食堂を開放し、安定的な食事提供を実施。
- ・2021年度(令和3年度)
4月に新入生へ1万円分、9月に全学生へ1万円分の学食券を配布。

- ・2022年度(令和4年度)
2021年度と同様の内容で継続支援。

本学は、コロナ禍以降も継続して学生の健康と食生活の安定を支え、社会情勢の変化に合わせた柔軟な支援策を展開しています。



配布された食券を利用する学生

「本当に強い大学ランキング2025」で全国14位・関東私大4位にランクイン

6月23日(月)発売の『大学特集 本当に強い大学2025』(週刊東洋経済 臨時増刊)において、本学は全国562大学を対象とした「本当に強い大学ランキング2025」で、全国総合14位、関東・首都圏エリアの私立大学では第4位(国公私含め第6位)にランクインしました。

本ランキングは、大学を「教育・研究力」「就職力」「財務力」「国際力」の4つの観点から総合的に評価し、計13の指標をポイント化して順位を決定しています。

これらの指標をもとに、本学は各分野で高い評価を得ることができ、その成果がランキン

グにも反映されました。今後も、教育・研究の質向上、就職支援の充実、財務基盤の強化、そして国際化への取り組みを通じて、学生の学びと成長を支える大学づくりを進めてまいります。

- ・教育・研究力:教育投資率、科学研究費補助金(科研費)、教員1人

当たり学生数など。

- ・就職力:実就職率、有名企業400社への就職率、上場企業役員数など。
- ・財務力:入学定員倍率、経常利益率、自己努力収入比率、自己資本比率など。
- ・国際力:外国人学生比率、海外留学協定校数、外国人教員比率など。

オープンキャンパスを開催(in新習志野キャンパス)

過去最多となる6,007人が来場

8月2日(土)、今年2回目となるオープンキャンパスを開催し、過去最高となる6,007人が、新習志野キャンパスに訪れました。当日を迎えるまで、台風の

接近が予想され実施が危ぶまれる時もありましたが、予定どおり実施。猛暑

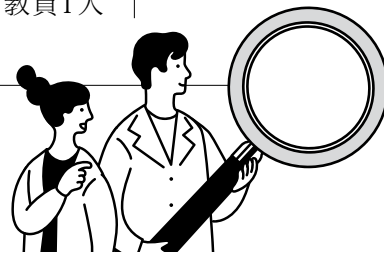
による熱中症対策など、来場者の皆様や対応にあたった教職員・学生への配慮も徹底し、大きな混乱もなく無事に終了しました。

毎年大盛況の「入試ガイダンス」や「学部学科全体説明会」では本学の特色や入試方法を詳しく知ろうと、会場に立ち見が出るほどの盛況ぶり。各

学科の特色を活かした「学び体験」など、多彩なプログラムを通じて本学の魅力を体感していたようです。

「学び体験」では「ハイブリッドロケットに使う材料を考える実験」「7つの関節を持つロボットアームを操作し、ロボットの基礎を学ぶ体験」「VRゴーグルでメタバース空間を体験しながらWeb3の仕組みを学習」「AIとボードゲームで対戦する挑戦企画」など、最先端の技術に触れることで、理系の楽しさを実際に見て、体験していた様子が伺えました。

また、6月のオープンキャンパスから新しく企画した入試広報部学生スタッフによるトークライブや展示「大学ってこんなトコ!」では、学びやキャンパスライフの“リアル”を紹介



満席となった学部学科説明会

し、参加者からは「大変参考になった」との声が多数寄せられました。学生寮見学ツアーには北海道や沖縄、さらには海外からの来場者も参加し、寮生からの説明に熱心に耳を傾けていました。

来場者アンケートでは99.8%が「スタッフの対応が良い」と回答があり、「イベントが充実していて良かった」「学生も積極的で好印象」といったコメントが寄せられました。



大学の最先端の研究に触れられるコーナー

Niz

PPA総会開催 新会長に北原氏

令和7年度PPA総会が、6月28日(土)、新習志野キャンパス体育館で開催され、保護者と教職員合わせて約650人(他に委任状3,828人)が出席しました。

冒頭、橋本淳会長(経情4の保護者)は、PPA活動へのご協力に対するお礼と「総会にて総合的なご意見を賜りたい」と挨拶を行いました。

その後、伊藤穰一学長がAIの急速な実用化と教育現場への影響を強調し、協働力や創造力の重要性、国際交流推進について話を進め、また、瀬戸熊修理事長からは、令和7年度入試で志願者数全国1位となり注目が集まっていることや

国際連携、研究成果など、大学の近況が述べられました。

その後、令和6年度の事業報告・決算報告や、令和7年度の役員・事業計画・予算案が審議され、承認されました。

新役員の紹介では、新会長に北原剛志氏(電電4の保護者)が選任され、「これまでと同様保護者の立場としてPPAに関わるとともに、今後は会長と



就任のあいさつをする、新会長の北原氏

してPPA活動に参加させていただきます」と就任の挨拶を行いました。

総会終了後は学科別懇談会や個別面談が行われ、保護者の方々が熱心に学生の修学状況や進路について相談する姿が見られました。

就職講演会 「自動車産業の魅力と求める人物像」

総会に先立ち、株式会社SUBARU人事部担当部長・岩田隆伸氏による就職講演会が開催されました。



PPA総会の様子

講演では「自動車産業の魅力と求める人物像」をテーマに、業界の最新動向や企業から見た学生の志向の変化、さらに企業が重視する資質や選考現場での視点について詳しい解説が行われました。就職活動を控える学生を支える保護者にとって、きわめて有意義な講演となりました。

授業で稼いだ仮想通貨がキャンパスで使える! 「web3・AI概論」最終発表会



本学は、ブロックチェーンやNFT、DAOなど次世代のデジタル社会基盤を学ぶ総合科学特論「web3概論」を2023年度より開講し、2025年度は授業内容をリニューアルして「web3・AI概論」として開講しました。これは、学内外の有識者や産業界との協働を通じて、最先端の技術と社会制度

を横断的に学ぶ試みであり、大学教育における新しいモデルケースとなるものです。

その授業の締めくくりとして、7月10日(木)に最終発表会「ChibaTech Expo 2025」を開催しました。当日は、受講生たちが数か月にわたり取り組んできた研究成果や企画案を披露するとともに、株式会社DOUおよびマイナウォレット株式会社と共同で、授業活動にに応じて付与される教育用デジタルトークン「cJPY」をマイナバーカードで決済できる実証実験を実施しました。学習成果を経済的インセンティブとし

て可視化するこの仕組みでは、学食ディナー会チケットや授業オリジナルグッズの購入が可能となり、受講生240人(社会人を含む)が新しい決済体験を楽しみました。

発表では、分散型コミュニティの設計やNFTを活用した価値流通モデル、web3時代のガバナンスのあり方など多様なテーマに加え、AIを活用したアプリケーションも多数紹介されました。集合写真AIサービス「OnceSnapShot」、ADHD配慮タスク管理アプリ「とっかかりプランナー」、高齢者向け生活ログアプリ「いまここ手帳」



など社会課題と直結した提案は高い評価を受けました。また、この授業の中で試験的に導入したAI大学講師システムの運用成果も報告され、延べ132時間の指導のうち97%が授業外利用という実効性が示されました。

東京スカイツリータウン®キャンパスで「楽しんだもんがち宇宙展」を開催 惑星探査研究センターが共催、延べ8,000人が来場



宇宙展(太陽ホールディングス主催/千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)共催)を開催。期間中延べ8,000人の来場者でにぎわいました。

イベントでは、PERCと宇宙・半導体工学科が監修した宇宙を旅するVR体験など、子どもから大人まで

楽しめる多彩なプログラムを展開。「宇宙をもっと知ろう!」コーナーでは、PERCのミッションをわかりやすく紹介するパネルや、「プラネタリーディフェンス(地球防衛)」についてクイズ形式で楽しく学べるパネルも設置し、毎日通って内容を覚えてしまう子どもの姿もありました。

期間中、次年度打上げ予定のJAXA・火星衛星探査計画『MMX』探査機1/2サイズ模型の特別展示を行い、迫

力あるスケールに幅広い層が足を止め、熱心に見入る姿が見られました。さらに、8月6日(水)から8日(金)には開発に関わったPERC研究員による「MMX」生解説イベントを実施しました。今回のイベントは「研究成果を社会へ還元し、次世代に宇宙への関心を広げる」という本学の使命を体現するものとなり、夏休み期間中の親子連れをはじめ多くの来場者に大きなインパクトを与えました。

8月1日(金)から11日(月)まで、東京スカイツリータウンキャンパスにて「楽しんだもんがち

就職・進路支援便り



全学年向け支援

就職・進路支援部 × 株式会社SUBARU
共同主催で特別講演を開催

9月25日(木)、津田沼キャンパスにおいて、株式会社SUBARU執行役員の柴田英司氏にご登壇いただき、【デジタルカーがつくるSUBARUの未来 ～アイサイト開発者が伝える「自動車開発の実際とこれからの技術、向き合い方」～】をご講演いただきます。長年にわたり運転支援システムの開発をけん引してきた柴田氏は、昨年6月に放送されたNHKドキュメンタリー「新プロジェクトX ～挑戦者たち～」で取り上げられるなど、業界でも注目を集めています。

なぜ世界シェア1%のSUBARUが「ぶつからないクルマ」という革新

を実現できたのか？30年以上にわたって車載ソフトウェア開発を行ってきた代表事例「アイサイト」に触れながら、SUBARUがどのように未来のモビリティを形づくろうとしているのかをお伝えするとともに、学生の皆さん

に向けて、世界で何が起きているのかを「自分の目を見て、五感で感じること」の大切さについても伝える内容になっています。

詳細は、メール配信等でお知らせいたします。貴重な機会ですので、多くの学生の皆さんの参加をお待ちしています。

日時：2025年9月25日(木) 14時～15時30分
場所：千葉工業大学津田沼キャンパス 2号館3階大教室

学部3年生・修士1年生向け支援

後期以降、就職支援のための各種講座およびイベントが予定されています。詳細は、後期ガイダンスで配布の資料および就職システムにて確認してください。

「国内インターン」単位認定希望者は、9月および10月に実施する「インターシップ報告会」に必ず出席のうえ、就職システムに報告入力をしてください。その他の認定要件も全て満たしているか、各自で再度確認してください。

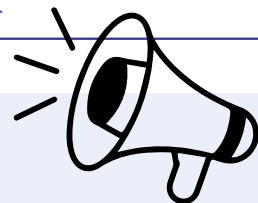
令和8(2026)年度 千葉工業大学入学試験日程

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験・大学独自入学試験

これまでの「大学入学共通テスト利用入学試験(前期・中期・後期)」に加え、
「5教科基準点型入学試験」を新設！

本学が指定する大学入学共通テストの5教科の得点が、学科毎に定められた基準点に達すれば合格となる入試制度です。基準点が明確なため目標がたてやすい上に、受験料15,000円(入学後、申請することにより返還)で全学部・学科への併願が可能です。

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
5教科基準点型入学試験(共通テスト利用) (全学部・全学科入試)	12/23(火)～1/16(金) (消印有効)	1/17(土)・18(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/9(月)
大学入学共通テスト利用入学試験【前期】 (全学部・全学科入試)	12/23(火)～1/16(金) (消印有効)	1/17(土)・18(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/9(月)
大学入学共通テスト利用入学試験【中期】 (全学部・全学科入試)	2/6(金)～2/16(月) (消印有効)		2/24(火)
大学入学共通テスト利用入学試験【後期】 (全学部・全学科入試)	2/20(金)～3/3(火) (消印有効)		3/9(月)
大学独自入学試験A日程入学試験 (試験日自由選択方式、全学部・全学科入試〈同日併願方式〉)	12/23(火)～1/31(土) (消印有効)	2/1(日) 2(月) 3(火) 4(水)	2/9(月)
大学独自入学試験SA日程入学試験 (試験日自由選択方式、全学部・全学科入試〈同日併願方式〉)			
大学独自入学試験B日程入学試験 (試験日自由選択方式、全学部・全学科入試〈同日併願方式〉)	2/6(金)～2/16(月) (消印有効)	2/17(火)・18(水)	2/24(火)
大学独自入学試験SB日程入学試験 (試験日自由選択方式、全学部・全学科入試〈同日併願方式〉)			
大学独自入学試験C日程入学試験 (全学部・全学科入試〈同日併願方式〉)	2/20(金)～3/3(火) (消印有効)	3/4(水)	3/9(月)



南房総市と本学 関研究室、産学協働で観光プロモーションに挑戦 －「なめろう」と「音旅トレカ」で地域の魅力を発信－

南房総市の「産学協働地域活力創造事業」(令和6年度)において、プロジェクトマネジメント学科・関研一教授と関研究室の学生たちが、地域の魅力を引き出す2つのプロジェクトに取り組みました。



左から長尾怜緒さん、片向史一さん、関研一教授

長尾怜緒さん・
高橋玲さん(当時4年生)による

なめろうの楽しみ方の提案

南房総発祥の郷土料理「なめろう」の魅力を科学的に分析し、観光客に伝える取り組みです。2人は現地調査や味覚センサーを用いた実験を実施し、なめろうの味覚が「コク・旨味・塩味」の3因子で説明できることを突き止めました。また、店舗ごとの特徴を紹介する「なめろうマップ」を提案し、観光客が自分好みの一品を選べる仕組みづくりを進めました。

片向史一さん(当時4年生)を
リーダーとする

観光促進のための 立体音響の導入

南房総の海や山で録音した自然音を立体音響技術で再現し、没入感のある「音の観光体験」を提供する試みです。収録した音源は「音旅トレカ」としてカード化され、6月に東京で開催されたオーディオイベント「OTOTEN2025」では南房総市と共同出展し、3,000枚を配布しました。鳥のさえずりや波の音を楽しみながら、地域の歴史や風土に触れられる新たな観光プロモーションとして注目を集めています。

関教授は「学生自身が発案し、地域と連携しながら形にしていたことに大きな意義がある。学びの集大成であり、南房総市にとっても価値ある提案になった」と語りました。



南房総の
さまざまな
自然音を録音した
「音旅トレカ」

地域の食文化と音環境という異なる切り口から挑んだ2つのプロジェクトは、南房総市の観光資源に新しい光を当てる成果となりました。

詳細は
コチラ ▶▶▶



産学連携プロジェクトで「猫のトイレ」を一般販売 ～市場調査からUXデザイン開発まで担う～

2025年4月3日(木)から4日間、東京ビッグサイトで開催された日本最大級のペット関連見本市「第14回インターペット」で、知能メディア工学科の森信一郎教授と森研究室の小川大輝さん(修士2)らが開発した「拭くだけ猫トイレ」(RAGDOLL)が展示されました。猫トイレは森研究室がマーケティングや設計も担った猫と飼い主に優しい産学連携の成果物で、6月から一般販売もされています。

研究室は、クニミネ工業株式会社から、高い消臭効果や粉じん抑制など

の特長がある猫砂「プレミアムサンド」を活かす猫トイレ専用容器の制作を依頼され、2022年1月から研究・開発を進めてきました。市場調査や課題抽出を通じたUXデザインを得意とする研究室では、ユーザー視点に立ったヒアリングデータを収集して分析。飼い主が猫砂が飛び散り掃除が大変であるという悩みやトイレの清潔さ、臭いを気にしている点などを考慮し、授業で用いるソフトウェアを使いながら高齢者にも使いやすい容器とするため試行錯誤を重ねました。国産天然素材100%のプレミアムサンド



研究開発に携わった森研究室のメンバーら

はベントナイトを使用し、0.50～1.00ミリメートルの細かい粒は高い消臭効果を発揮。少量でも尿をしっかり固めるのを特長としています。

研究室はサラサラの砂の特性を活かすため、取り外し可能な2層構造で猫砂の交換頻度を極力減らし、猫砂の費用抑制にもつながらる容器

とすることを考案しました。猫と飼い主の快適さを高める専用トイレは幅68.6センチ、奥行き51センチ、高さ33.7センチ、約4.0キロ。帯電防止のポリプロピレンで制作し、尿が内壁を超えて外壁に到達しないことを機能実

験で確認。トイレの掃除は本体と内壁を外し、内壁の汚れているところを拭くだけで清潔さを保つことができるようにつくられています。

森教授は「構造化分析でいろいろな課題が抽出され、どのように猫砂の特長を活用しながら容器を作るかが開発のポイントでした。すべて学生が作った綺麗にまとまった事例となりました」と振り返ります。小川さんの「洗わない猫トイレを活用した猫砂廃棄量削減手法の提案」は、一般社団法人「情報処理学会」の第39回コンシューマデバイス&システム研究会で2023年度学生奨励賞を受賞しました。「実際に研究し、ものづくりに関わることができ、すごい面白かったです」と小川さんは語りました。

トイレ本体・プレミアムサンド5キロ2袋、ブリキバケツ、専用スコップ、ポリボックス袋1箱の「安心初めてセット」は1万9800円(税込み)で公式サイトで販売

柔道部が千葉県学生柔道優勝大会 2部リーグ戦で優勝

6月7日(土)にSBC東京医療大学(浦安市)において開催された第132回千葉県学生柔道優勝大会において、本学体育会柔道部(主将:早川景都・PM3)は、同大会2部リーグ(千葉工業大学、城西国際大学、SBC東京医療大学、千葉大学

の4大学)において3戦全勝にて優勝しました。
選手を牽引した佐野翔太選手(知能4)は、「先月開催の関東学生柔道優勝大会第2部(14大学参加)準優勝の城西国際大学に勝つことができたのは、大きな自信になります。

全日本理工科学生柔道優勝大会2連覇に向け、部員一丸となって臨みます。」と力強く語っていました。



全日本理工科学生柔道優勝大会2連覇に向け
闘志を燃やすメンバー



参加選手

佐野翔太(知能4)、深瀬^{ひろや}皓也(PM3)、佐野健太(知能2)
片嶋^{しょうだい}昇大(経デ2)、萩原^{はぎわら}大翔(材料1)、吉田^{まさき}将基(材料1)

よさこいソーラン風神部 県民の日イベントで華やかに演舞

6月15日(日)、本学よさこいソーラン風神部(主将:高橋^{あおい}蒼生・未口3)が、イオン津田沼店で開催された「千葉県民の日記念イベント」に出演し

ました。
市内外で精力的に活動する同部は、この日11時30分と13時30分の2回、1～3年生のメン

バーで元気いっぱい演舞を披露しました。演目は、「ちばよさこい島」で華やかに幕開け。続く「南中ソーラン」では、観客の手拍子や歓声が会場に響き渡りました。さらに「よっしゃこい」で盛り上げた後、2・3年生による「ナイト」へ。「はっ」の掛け声とともに、黒のTシャツと紫のはかま姿のメンバーが鳴子を手に躍動。「ナイト、ナイト、踊らないと…」と歌いながら飛び跳ねる姿に、観客からは大きな拍手が送られました。

20代目主将・高橋さんは、「1年生は前回の谷津干潟イベントで初舞台を経験し、今回は緊張もほぐれ、良い演舞ができた」と笑顔。「ナイトは昨年あまり披露しなかった曲。1年生に“先輩はこんなカッコいい曲も踊れる”と見せたかった」と話しました。また、20代目としての新曲については「振り付けもほぼ完成し、8月のお披露目に向けて調整中。今日は子どもも多く、笑顔になってくれてうれしい。習志野の皆さんによさこいがもっと身近になってほしい」と意気込みを語りました。



笑顔あふれる演舞を披露



学生寮で防火・防災訓練と運動会を開催 ～速やかな避難と笑顔あふれる交流の一日～

6月14日(土)、本学学生寮で年に一度の防火・防災訓練と学生寮運動会が行われました。
防火・防災訓練には男子243名、女子76名、計319名が参加。大地震により男子寮4階から火災が発生したと想定し、南側の野球場まで避難しました。避難完了までの時間はわずか14分で、昨年より1分短縮。訓練を通じて、参加者は「落ち着いて行動すること」「周囲との連携」「状況に応じた判断」「日頃の備え」の重要性を改めて確認しました。

同日10時から15時半まで行われた運動会には、男子245名、女子76名が参加。運動不足の解消と寮生^{けんしん}同士の交流を目的に、森戸^{もりど}憲心さん(PM4)、

飯田^{まお}眞生さん(PM4)、谷村光紀さん(機電3)らが企画・運営を担当しました。午後は降雨により一部競技を短縮したものの、名物の「竹取物語」や「リレー」に加え、初開催の「華のステージ」では各フロア対抗で熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。
谷村さんは「雨で競技を減らす判断をしましたが、参加者が楽しそうにしているのが良かったです。準備は大変でしたが、寮友会のみんなの協力に感謝します」と笑顔で話していました。



防火・防災訓練の様子



白熱したリレーで全力疾走

6月・7月のできごと



6月3日 ○ 高校教員説明会

6月5日 ○ スペイン上院議員団(御宿研修センター)来訪
御宿町との連携協定に伴い、本学御宿研修センターに
スペイン団が来訪! 瀬戸熊理事長らと交流を図りました。

6月8日 ○ ダイヴ・トゥ・ザ・フューチャー(学友会夏企画)
新習志野キャンパスを貸し切って、水鉄砲を使ったアトラクション!



6月9日 ○ 国府台スタジアム 広告設置
市川市国府台スタジアムに本学の新しいロゴを掲載!

6月12日 ○ シビ・ジョージ駐日インド共和国特命全権大使来訪
伊藤学長との交流から、インド大使が来学!
今後の国際交流などについて意見交換を行いました。



6月14日 ○ 防火・防災訓練&学生寮運動会

6月14日~6月15日 ○ 第98回形の科学シンポジウム「折り紙の科学 平面と立体の交差点」

6月16日~ ○ 全学生に学食用食券配布

6月18日 ○ 理事・評議員・監事・会計監査人の選任(改選)

6月22日 ○ オープンキャンパス(津田沼キャンパス)

6月25日 ○ 授業アンケート(~7月16日)

6月28日 ○ PPA総会/個別相談会の実施



「千葉工業大学と西武台千葉中学校・高等学校の包括的連携に関する協定」締結式

7月2日 ○ 西武台千葉中学校・高校と包括連携協定を締結
進学・キャリア支援、探究活動など幅広く連携!
両校は教育・文化の発展、次世代人材の育成に向けて、より実りある連携を進めていきます。

7月3日・4日・7日 ○ 学内献血

7月3日 ○ ブータン政府技術庁事務次官来訪

7月4日 ○ 西武台高校 模擬授業

7月5日 ○ 新大学院シンポジウム

7月15日 ○ 前期授業終了

7月16日 ○ 夏期休暇(~9月17日)



7月20日~7月21日 ○ ロケットガール&ボーイ養成講座合宿
11月のロケット打ち上げに向けて、御宿研修センターで燃焼実験!

7月22日・23日 ○ 八千代松陰高校 模擬授業

7月24日 ○ FD シンポジウム

7月25日・26日 ○ 御宿研修センターにて留学生研修

7月27日~7月31日 ○ ブータン王国へ瀬戸熊理事長、伊藤学長が訪問(千葉工大ブータン事務所視察等)

7月28日 ○ 実籾高校 模擬授業

7月28日 ○ 夏期公開講座(中高生のための機械工学講座【座学・実験】)

7月29日・30日 ○ 千葉工業高校 模擬授業

7月31日 ○ 夏期公開講座(小学生のための材料科学講座~先端材料で遊ぼう~【演習・実験】)



公開講座について

7月~8月にかけて、化学実験や機械工学講座など小・中・高生向けに夏期公開講座を開催!後期には大学生・社会人を対象とした後期公開講座を開催します!是非ご参加ください。



詳細は
こちらから

column

教学センター
(津田沼教務担当)

楠 沙織

今年は梅雨をあまり感じることなく、真夏のような強い日差しが続いています。外を歩くときは日傘を差すことが多く、いつも日陰を選んで歩いています。ある朝、子どもが登校する際に、笑顔で「見て!空がすごく青いよ!」と元気に声をかけてきました。その言葉にふと空を見上げ

ると、驚くほど澄みきった青空が広がっていました。その空の美しさに心が晴れやかになりました。とてもすがすがしい気分になりました。日傘を差していると、空を見上げる機会が減り、いつの間にかその美しさを忘れていたことに気づきました。たまには日傘を閉じて空を見上げることも

大切だと感じた瞬間でした。さらに、青空に浮かぶ白い雲や、そよ風の涼しさにもふれ、夏の自然の気持ちよさを改めて感じました。

まもなく夏休みが終わると、季節は秋へ。暑い秋になりそうですが、秋ならではの良さも楽しめたらと思います。